

お知らせ

□平成27年度ふるさとづくり大賞を受賞

全国各地で、それぞれのところをよせる地域「ふるさと」をより良くしようと頑張る団体、個人を表彰する総務省の「ふるさとづくり大賞」を、工業試験場が受賞しました。

表彰式は平成28年1月23日(土)に千葉市で行われ、「鯨のなれ寿し由来の乳酸菌」や「兼六園の桜の花等から分離した酵母」など石川県産微生物と伝統的発酵技術を使い、「お米を原料としたヨーグルト風味乳酸発酵飲料」や「花酵母清酒」を開発し、産学官連携でヒット商品を生み出す独自性のある取り組みが評価されました。



□機能性食品開発セミナー、機器講習会を開催

平成27年4月に「機能性表示食品」制度がはじまり、健康食市場が拡大する中、機能性を重視した商品開発が活発化しています。そこで、県内企業における機能性食品開発の促進を目的に、(一社)石川県食品協会と共催で、機能性食品開発セミナーを3月4日(金)に、また実習形式の機器講習会を3月9日(水)、10日(木)に開催し、3日間で93名の参加者を迎えました。

4日(金)は、国立研究開発法人農研機構食品総合研究所食品機能研究領域長の山本(前田)万里氏より「機能性表示制度と機能性農産物・食品の開発」について、山形大学農学部准教授の及川彰氏より「網羅的成分分析による地域特産食品の機能解明と高付加価値化」について、それぞれ実例を交えた解説や地域特産食品の成分解明によるブランド力向上の取り組みについて講演を頂きました。

9日(水)、10日(木)は、工業試験場に今年度導入した液体クロマトグラフ質量分析計を中心に、参加者から提供して頂いた試料について、機能性成分の分析を行いました。参加者は熱心に話を聞き、今後の食品開発に活かしていきたいとの感想を多数頂きました。



□3Dプリンタ研究会 造形分科会および設計分科会を開催

3Dプリンタの利用促進を目的とした、第4回造形分科会を1月29日(金)に、設計分科会を3月4日(金)に開催しました。

造形分科会では、株式会社リコー AM事業室 丸田和弥氏より「3Dプリンタを活用した生産現場の改善」と題してご講演をいただき、各種3Dプリンタの特徴を見極めたうえで上手に使い分け、治具や金型の製作など生産現場を改善・効率化した事例をご紹介いただきました。



設計分科会では、工業試験場職員がこれまでの経験や実験結果を取りまとめたうえで、「3Dデータ作成手法とデータエラー解消方法」や「造形限界を考慮した設計指針」などをテーマに発表しました。

平成28年も、利活用セミナーなどの研究会活動を継続して開催する予定です。

問い合わせ先：機械金属部 TEL 076-267-8082

□新規採択事業の紹介

○ NEDO 未利用熱エネルギーの革新的活用技術研究開発／ 熱電変換材料の技術シーズ発掘小規模研究開発事業

課題名：シリサイド系多孔質熱電変換材料を用いた高効率熱電変換素子の研究開発

共同研究機関：(株)白山製作所、北陸先端科学技術大学院大学

環境にやさしいマグネシウムやシリコンを用いて熱から直接発電ができる高効率熱電変換素子を開発します。多孔質熱電変換材料の製造技術を確認することで身の回りの未利用熱エネルギーを使って発電する環境発電デバイスへの応用を目指します。

□新規導入設備の紹介

(1)平成27年度JKA設備拡充補助事業により、以下の設備を導入しました。

○ 電源変動・高調波測定装置

[用途] 電源変動に対する電子機器の耐性評価、高調波電流を測定する装置です。

[メーカー型式] 菊水電子工業(株)・PCR6000LE2

[仕様]

・電源容量:6kVA

(単相、三相、直流)

・電源変動試験:0、40、70、80%

・高調波測定:最大40次、

次数間高調波測定可

・対応規格:JIS、IEC、EN

[利用料金]

1時間あたり1,460円

